

別記様式2

副 専 攻 プ ロ グ ラ ム 説 明 書

開設学部（学科）名〔生物生産学部（生物生産学科）〕

プログラムの名称	(和文) 生物圏環境学副専攻プログラム
	(英文) Integrated Ecoscience Program
<p>1. 概要</p> <p>私たち人間活動の営みは、生物圏いわゆる「海と大地の恵み」によって支えられています。生物圏環境学副専攻プログラムでは、1) 植物の生産とそれを支える土壌の構造や機能、2) 水域の環境や底次生産生態系の構造と機能、3) 人間の食料生産の営みと社会システムを学ぶことを通じて、環境と調和した食料生産、資源の循環と有効利用、生物圏の食料・生物生産と環境保全とを両立させうる技術、食料生産のための資源管理や流通の仕組みについて理解を深め、生物圏の持続的な発展について学びます。</p>	
<p>2. 到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境と調和した持続的な食料生産や生物圏の環境保全に関する基礎を修得することを目的とします。 	
<p>3. 登録時期</p> <p>プログラムの履修開始時期は3セメスターからです。また、プログラムの登録は、履修開始前（事前登録）とします。</p>	
<p>4. 登録要件</p> <p>本プログラムは、本学のすべての学生に開かれています。本プログラム選択のための既修得要件はありません。食料生産や環境に興味を持っていることが必要条件です。</p>	
<p>5. 受入上限数</p> <p>10名</p>	
<p>6. 授業科目</p> <p>※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。</p> <p>※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。</p>	
<p>7. 修了要件</p> <p>別紙の履修表に示す授業科目のうち、16単位を修得すること。</p>	
<p>8. 責任体制</p> <p>生物圏環境学副専攻プログラム担当教員会</p>	
<p>9. 既修得単位等の認定単位数等</p> <p>(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等</p> <p>8単位</p> <p>(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等</p> <p>8単位</p>	

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

- 主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。
- 副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

生物圏環境学副専攻プログラム履修表

区分	授業科目	単位数	履修期	要修得単位数
教養教育科目	生命・食・環境のサイエンス	2	3	このうちから2単位以上
	生物生産と自然との関わり	2	3	
専門基礎科目	食料資源論	2	4	2
	生物環境学	2	3	2
専門科目	食料循環経済学	2	6	このうちから10単位以上
	食料生産管理学	2	6	
	食料流通学	2	7	
	地域農業組織論	2	6	
	浮遊生物生態学	2	6	
	生物海洋学	2	7	
	海洋環境学	2	7	
	環境土壌学	2	6	
	土壌機能管理学	2	7	
	植物栄養生理学	2	6	
	作物生産生理学	2	7	
	生物圏環境学特論Ⅰ	1	6	
生物圏環境学特論Ⅱ	1	6		
合 計				16

注：なお、生物生産学部以外の学生については、「生命・食・環境のサイエンス」を修得することが望ましい。